

# 平成28年

## 年頭の「ごあいさつ」

新年明けましておめでとうございます。

町民のみなさまには、希望に満ちた新しい年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は、国内では9月の大雨災害が発生し、国見町でも土砂災害避難準備情報が発令されたほか、火山活動をはじめとする世界的な異常気象による災害に見舞われましたが、ラグビーW杯での日本代表の活躍や、昨年に引き続き日本人2名に「ノーベル賞」が贈られるなど、明るい話題などもありました。

国見町におきましては、歴史まちづくり計画

の認定、国見町合併60周年記念式典、役場新庁舎の開庁、防災拠点と交流の場となる道の駅造成工事の竣工、仮庁舎となっていた観月台文化センターホールの再オープンなど、少しずつ復興への光が見えつつある状況となりました。

私が町長に就任して早や3年1カ月が経過いたしました。

この間「国見のみらいをつくる5つの目標」を掲げ、東日本大震災、原発事故からの復旧・復興や元気活力事業などを実施してまいりましたが、多くのみなさまのご理解とご協力により、住宅・

宅地除染につきましては、昨年10月に半年前倒しで全ての住宅現場の除染が完了し、現在は道路・森林等の除染を進めているところであります。

また県北浄化センターの汚泥問題につきましては、減容化施設が稼働するとともに、飯舘村のご配慮により、飯舘村蔵平の仮設焼却施設に搬出を行っており、全量搬出に向けて取り組んでいるところであります。

さらに、風評被害の払拭に向けた町の農産物の普及啓発事業のため、北海道・東京・中部・関西地方などにおいてトップセールスを精力的に展開

したほか、交流人口の増加へつなげるために「東京くみ会」、「国見応援団ツアー」などに継続的に取り組むとともに、「義経まつり」、「ふるさと産業祭」、「イルミネーション」、「ビックツリー」などの元気活力事業にも積極的に取り組んでまいりました。

また将来にわたって国見町が持続発展するため、人口ビジョン及びまち・ひと・しごと創生総合戦略を策定したところでもあります。

このように「東日本大震災」や「原発事故」からの早急な復旧・復興を加速し、町民のみなさま、関係団体のみなさまとともに、安全・安心で明るい魅力ある町をつくりあげ、復興・再生を進めるため、全力で取り組むことが、私の使命であると考えているところであり

ます。

平成28年は「東日本大震災からの復旧復興」「安

全安心」「元気活力」「思いやり」「国見町の継続的な維持発展」の5つの目標をベースとし、交流の場づくり、風評被害対策、空き家対策などの防犯対策、農林商工や教育の振興対策、元気活力につながる事業やイベントの実施、町内外への情報発信や交流人口の拡大の強化、少子高齢化社会を見据え様々な対策を講じるとともに、スポーツ・文化の振興などにも対応してまいりたいと考えております。

特に今年、平成28年度中に完成予定の「交流を核とした道の駅整備事業」の総仕上げの年であり、将来の国見町を支える基盤・核となる施設をしっかりと創り上げるとともに、歴史まちづくり計画や地方版総合戦略の具現化のため、「まちづくり」や「交流人口拡大」に直結する事業を重点的に進めてまいりたいと考えております。

しかしながら、これらの事業を推進していくためには、町民のみなさまのご理解とともに、町民のみなさまと一丸となって「みんな・みんな」で活力に満ちた魅力ある国見町を創り上げていくことが必要不可欠であります。引き続きご理解、ご協力をお願い申し上げます。

結びに、今年がみなさまにとって良い年であり、ますよう心よりご祈念申し上げます、年頭のごあいさつといたします。

平成28年1月

国見町長  
太田久雄

